

# 平成29年ホヤ類調査結果速報 No. 4

平成29年10月31日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

共同実施機関：渡島地区水産技術普及指導所

渡島北部地区水産技術普及指導所

胆振地区水産技術普及指導所

※この速報は函館水試HPでも見るができます。

【アドレス：<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>】

9月15日～10月19日に噴火湾周辺沿岸の各地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

## 結果概要

- 調査を行った全地区でヨーロッパザラボヤの付着が確認されました（図1、2、3）。
- 付着個体数および付着重量は八雲地区で多く、虻田地区、長万部地区でもやや多くなっています（図2、3）。
- 過去5ヶ年の平均値と比較すると、全ての地区で今年の付着個体数が下回っており、**今年**は**全体的に付着量が少ない**と見られます（図4）。
- 体サイズは20～35mmの個体が約6割を占めています。10mm未満の個体の割合は小さく、新たな個体の付着は少なくなっていると考えられます（図5）。
- これまでの研究で、**この時期のホタテガイ1枚あたりの付着個体数が10個体程度でもその後のホタテガイの成長に悪影響が出る**ことが確認されています。一定の付着が見られる湾奥部では、状況に応じて付着物除去（貝洗い）を行って下さい。

図1 調査地区と耳吊ホタテガイ（長万部、落部地区）



調査地区（10地区）

長万部地区（平成29年9月26日）

落部地区（平成29年10月19日）

\*白矢印がヨーロッパザラボヤ

問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・吉田  
TEL:0138-83-2893 FAX:0138-83-2849

# 耳吊りホタテガイ付着物調査

〔調査月日：9月15日～10月19日、調査地区（伊達、虻田、礼文、長万部、八雲、落部、森、砂原、鹿部、南茅部）〕

ホタテガイを1連から上層、中層、下層ごとに5枚ずつ抽出し、肉眼による観察により、付着物の識別、採取を行いました（八雲地区の定期調査と異なり、実体顕微鏡による観察は行っていません）。ヨーロッパザラボヤおよびその他付着物の重量測定、ヨーロッパザラボヤ個体数の計数および体サイズ測定を行いました。

## 1) 付着重量と付着個体数

ヨーロッパザラボヤの付着重量、付着個体数ともに、八雲地区で数値が高く、虻田、長万部地区もやや高くなっています（図2、3）。イガイ類、キヌマトイガイの付着により、その他重量が高い地区も見られます。全ての地区で例年よりもヨーロッパザラボヤの付着数は少ないです（図4）。

図2 各地区の付着生物重量（平成29年9月15日～10月19日）

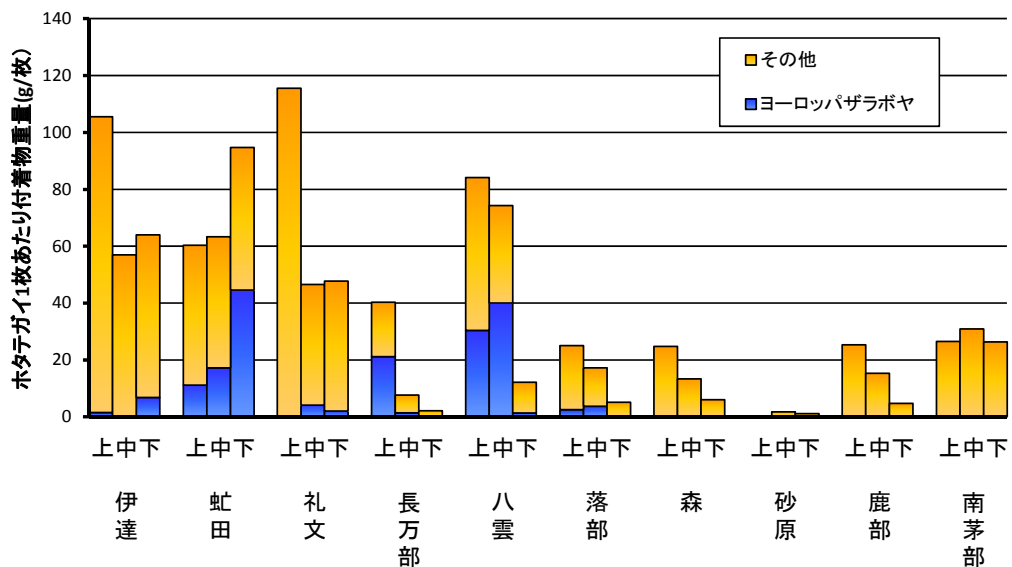


図3 各地区のヨーロッパザラボヤの付着個体数（平成29年9月15日～10月19日）

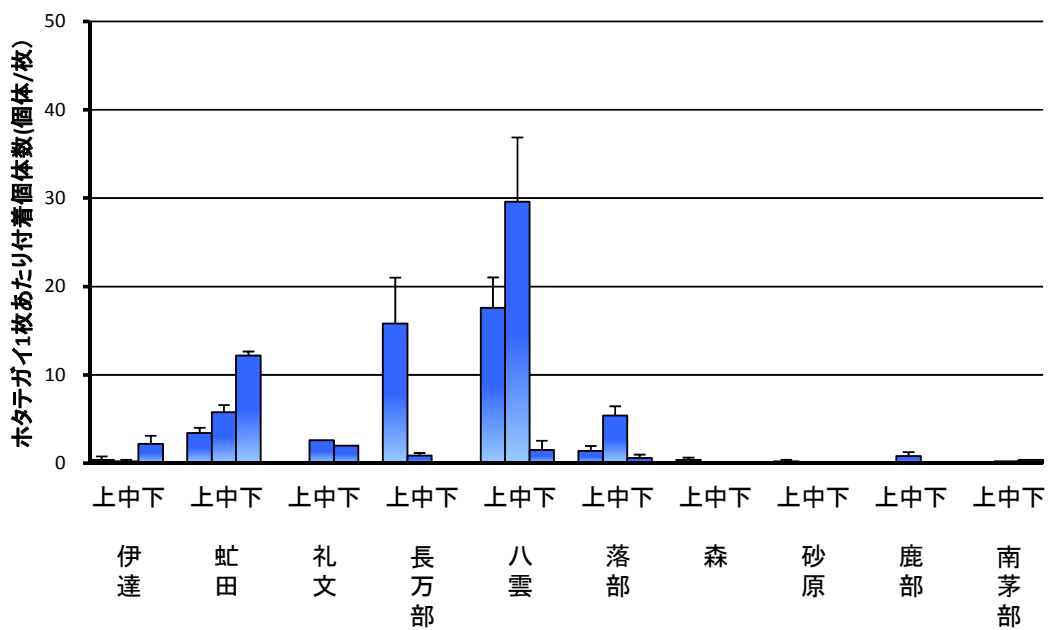
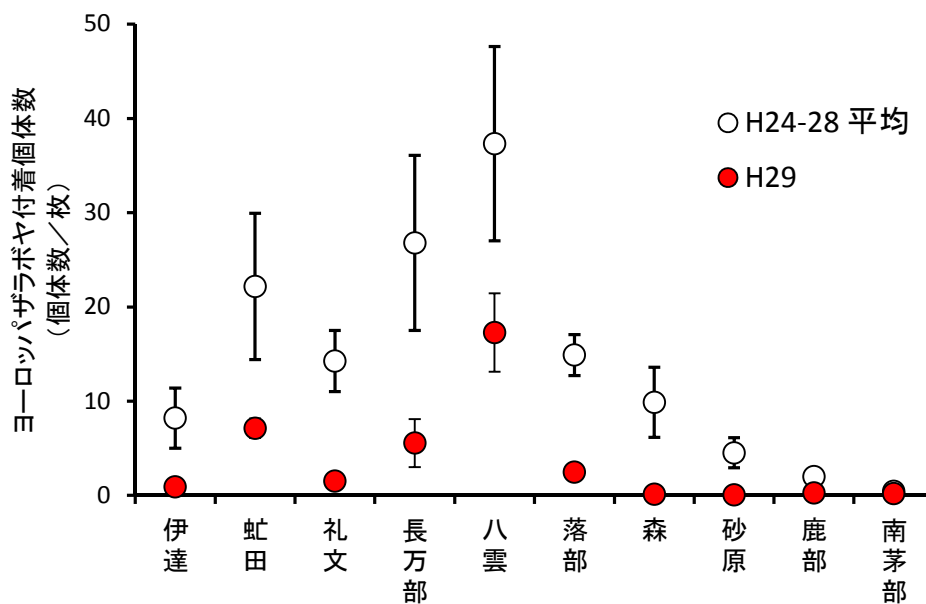


図4 ヨーロッパザラボヤ付着個体数（3層平均）の過去のデータとの比較

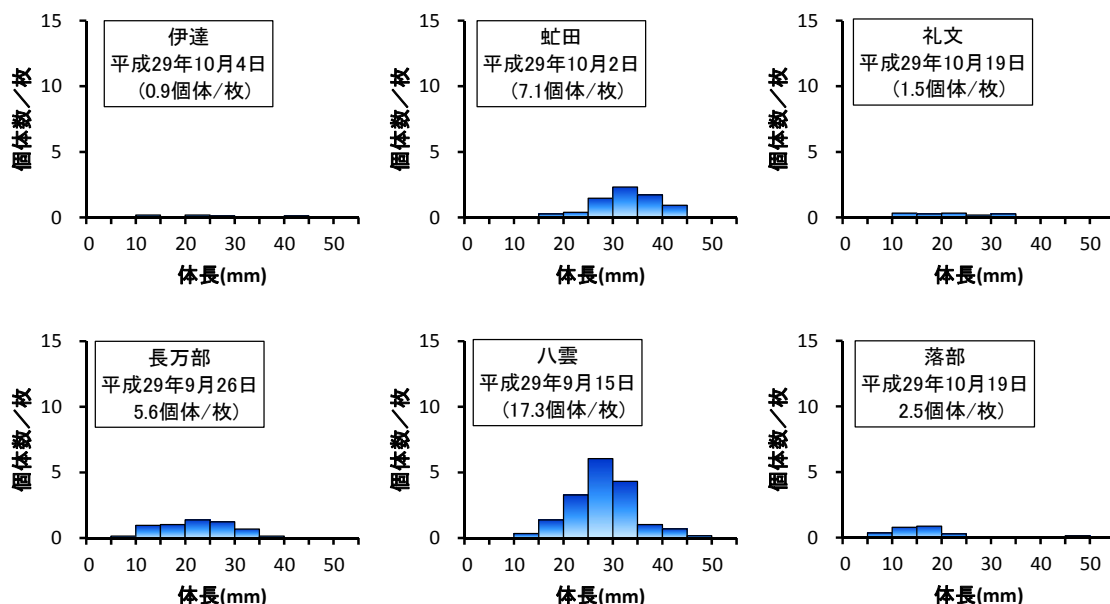


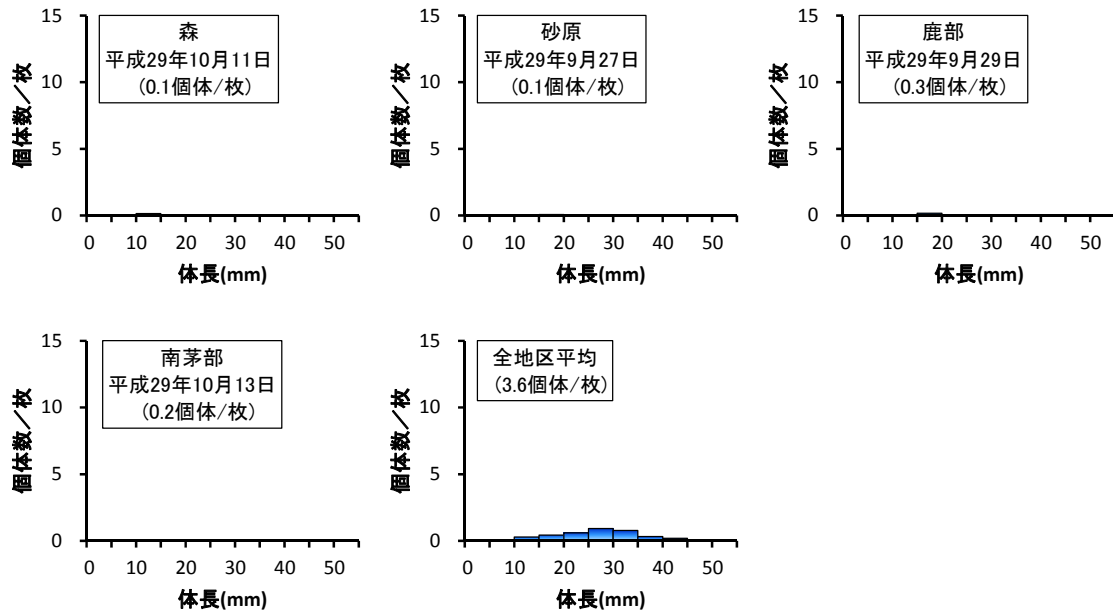
縦棒は標準誤差。各年の調査期間は以下のとおり。H24：10/9-22、H25：10/9-29、H26：9/16-10/2、H27：9/14-10/6、H28：9/20-10/25。また、H26 南茅部地区、H27 落部、砂原地区は欠測。ヨーロッパザラボヤは、内湾や入り江などの静穏域に大規模な個体群を形成します。噴火湾でも養殖ホタテガイへの付着は静穏な湾奥部で多くなる特徴があります。また、夏～秋に付着したヨーロッパザラボヤは、越冬後、次の夏～秋に本格的な繁殖を行います。従って、耳吊りの状態で翌年まで養成する場合は、耳吊りした年の秋に付着物除去（貝洗い）をしっかりと行う事が翌年のヨーロッパザラボヤの発生抑制のためにも重要だと考えられます。

## 2) サイズ組成

養殖ホタテガイに付着しているヨーロッパザラボヤは 20～35mm の個体を中心となっています（図 5）。10mm 未満の個体の割合は小さく、新たな個体の付着は少なくなっていると考えられます。

図5 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（平成29年9月15日～10月19日）





### 参考文献

北海道におけるヨーロッパザラボヤの分布状況とその特徴について、以下の文献を公表しています。

- ・金森誠・馬場勝寿・近田靖子・五嶋聖治（2014）：北海道における外来種ヨーロッパザラボヤ *Asciidiella aspersa* (Müller, 1776) の分布状況。日本ベントス学会誌 69(1)：23-31。  
(URL：[https://www.jstage.jst.go.jp/article/benthos/69/1/69\\_23/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/benthos/69/1/69_23/_pdf))